

JCI生コンセミナー(下)

日本コンクリート工学会(JCI)が4日に開いた生コンセミナーのパネルディスカッションで、「コンクリートの未来を創る、未来を変える」をテーマに産官学、男女のメンバーで生コン製造業の将来の方向性が議論された。女性技術者の活躍の場を広げるためのJCI改革として、身体的に負担の大きい生コンの試験器具の軽量化や試験の省力化、生コン業界のイメージアップに向けて学生たちに現場を経験させたり、働きたいと思ふ魅力を発信するなどの意見が出た。



大内氏

JIS改革については、高知工科大学の大内雅博教授が生コン試験の①軽量化の試験方法そのものの見直し②性能規定化を「改革のスリーステップ」として提案した。



日野口氏

大内氏は試験の省力化に向けて、毎日の強度試験を廃止して全バッチの計量値公開システムによる情報の見える化も提案した。

試験の負担軽減を 器具の軽量化など要望

JIS改正はどのようなタイムスケジュールで実現できるのか、関西支部の日野口舞氏と女性から改善を求める意見が出た。

大内氏は「軽量化によって起きる問題を把握でき、一定の要件を満たす機関からのJIS原案は制定までの時間を大幅に短縮できるようにすることを紹介し、「生コン試験のJIS原案はすべてJCIが作成している。JCIに要請すればいい」と



岡本氏

生コン業界のイメージアップについては、立命館大学の岡本亨久教授がJCIイメーリアップ広報戦略検討委員会の活動を報告したほか、福井宇部生コンクリートの石川裕夏氏が生コン工業組合、協同組合の先進的な取り組み事例を紹介して議論を深めた。

石川氏は生コン業界で女性が働きやすい環境づくりの先進事例として、岡山県の白石建設を紹介した。同社は生コン業界で初めて従業員専用託児所・学童保育施設を開設し、子どもを持つ従業員が業務に集中できる体制を構築している。

「奥村組の阿部由美氏、「試験器具の軽量化を待ち望んでいる。」

「生コン業界のイメージアップについては、立命館大学の岡本亨久教授がJCIイメーリアップ広報戦略検討委員会の活動を報告したほか、福井宇部生コンクリートの石川裕夏氏が生コン工業組合、協同組合の先進的な取り組み事例を紹介して議論を深めた。」

「生コン業界で初めて従業員専用託児所・学童保育施設を開設し、子どもを持つ従業員が業務に集中できる体制を構築している。」

「生コン業界で初めて従業員専用託児所・学童保育施設を開設し、子どもを持つ従業員が業務に集中できる体制を構築している。」